国土交通省　東北地方整備局
郡山国道事務所

〒963-0117
福島県郡山市安積荒井一丁目5番地
TEL 024-946-0333（代）

道路の異常を発見したら

道路緊急ダイヤル
＃9910
［全国共通・２４時間受付無料］

LINEでも通報できます

簡単
5 ステップで
通報完了

詳しいお問い合わせはこちらまで



直通ダイヤル

総　務　課：024-946-8160
経　理　課：024-946-8161
用　地　課：024-946-8162
工　務　課：024-946-8163
調　査　課：024-946-8164
管　理　課：024-946-8165
交通対策課：024-946-8167

郡山維持出張所

〒963-8071
福島県郡山市富久山町久保田字大原3番地
TEL 024-932-4486

■ 会津若松出張所

〒965-0052
福島県会津若松市町北町大字
始字北台105番地
TEL 0242-23-1241



地域と共に、これからも。

















令和8年度
業務概要

国土交通省 東北地方整備局
郡山国道事務所

福島県を南北に通る国道4号は東京都中央区を起点とし、青森県青森市まで、総延長838.6㎞の道路です。このうち、福島県西白河郡西郷村から福島県本宮市までの54.4㎞の区間を管理しています。また、福島県を東西に通る国道49号は福島県いわき市を起点とし、新潟県新潟市まで総延長248.2㎞です。このうち、福島県石川郡平田村から福島県耶麻郡西会津町までの136.3㎞の区間を管理しています。



■管理区間

	担当出張所	起　終　点	管理延長
国道4号	郡山維持出張所	自：西白河郡西郷村大字小田倉字ナメラフチ1番 距離標　182.2km 至：本宮市大字荒井字陣場37番の1 距離標　235.5km	54.4km

	担当出張所	起　終　点	管理延長
国道49号	郡山維持出張所	自：石川郡平田村大字鴇子字札場 距離標　34.8km 至：耶麻郡猪苗代町大字山潟字酸元沢山 距離標　93.6km	59.0km
国道49号	会津若松出張所	自：耶麻郡猪苗代町大字山潟字酸元沢山 距離標　93.6km 至：耶麻郡西会津町宝坂大字宝坂字高反乙 距離標　174.8km	77.3km

計
136.3km

管理延長合計	190.7km

Contents －目 次－

主要事業（改築事業）

・国道121号　湯野上バイパス …… 5
・国道4号　矢吹鏡石道路 …… 6
・国道49号　会津防災 …… 7


▲湯野上バイパス


▲矢吹鏡石道路


◀ 会津防災

主要事業（交通安全事業）

・国道4号　泉崎地区・矢吹地区事故対策 … 8
・国道4号　薄葉・女石地区交差点改良 …… 9
・国道49号　富田地区車両停車帯設置事業 …… 10
・国道49号　山潟地区線形改良 …… 10
・国道49号　付加車線整備事業 …… 11

主要事業（電線共同溝事業）

・電線共同溝事業 …… 12
・無電柱化の推進

事故ゼロプランの取組み

・国道49号　北柳原交差点の整備効果 …… 13

道の駅を核とした地域活性の取組み

・道の駅第3ステージへ …… 14
・福島県内の道の駅一覧
・高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施

道路の維持管理・老朽化対策

・道路管理 …… 15
・老朽化対策 …… 16

防災対策の取組み

・防災・減災への取組み …… 17

通行規制区間 …… 18

災害に備える

・災害に備える …… 20
・建設機械

災害時の支援

・災害対策支援 …… 21
・ホットライン

道路情報の発信 …… 22

巻末付録　郡山国道事務所管内図

GUIDE －事務所の概要－



郡山国道事務所では、国道4号の福島県西白河郡西郷村から福島県本宮市までの管理延長54.4km区間と、国道49号の福島県石川郡平田村から福島県耶麻郡西会津町までの管理延長136.3km区間の整備や管理を担っています。これらの区間の整備や管理を通じて、安全で快適な交通の確保に取り組むとともに、地域間の交流の促進、地域活性化、災害時の対応を支援します。郡山国道事務所は未来へつづく、暮らしに役立つ「道づくり」を全力を挙げて取り組んでいきます。

組織図

郡山国道事務所

〒963-0117　福島県郡山市安積荒井一丁目５番地　TEL.024-946-0333（代）

総　務　課
TEL.024-946-8160
文書管理や福利厚生等及び他の課に属さない事務を行っています。

経　理　課
TEL.024-946-8161
予算の管理や国有財産の管理及び工事等の契約に関する事務等を行っています。

用　地　課
TEL.024-946-8162
道路事業に必要な土地の確保に関する事務等を行っています。

工　務　課
TEL.024-946-8163
道路工事や道路事業予算の計画作成及び工事の積算等を行っています。

調　査　課
TEL.024-946-8164
交通の状況調査、地域の将来像を見据えた道路整備計画の作成を行っています。

管　理　課
TEL.024-946-8165
道路の維持、補修、災害対策や除雪用建設機械等の整備管理を行っています。

品質確保室
TEL.024-946-8166
工事発注に係る提案の審査・評価、工事検査に関する業務を行っています。

交通対策課
TEL.024-946-8167
道路の交通安全対策に関する事業や通信設備等の整備、管理を行っています。

※各課の電話番号は直通ダイヤルです。

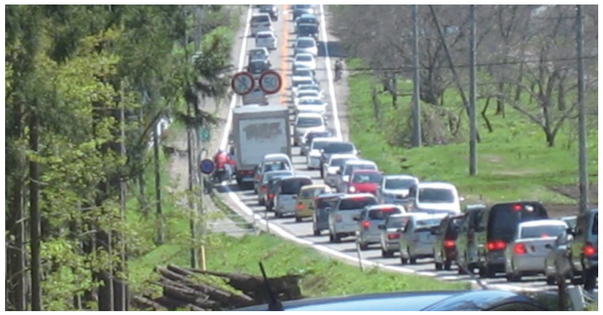
HISTORY －事務所の主な沿革－

昭和30年	建設省　郡山国道工事事務所開設	平成　9年	国道49号　熱海バイパス全線供用
46年	国道4号　須賀川拡幅事業着手		国道121号　会津縦貫北道路事業着手
48年	国道4号　白河拡幅事業着手	11年	国道49号　若松拡幅全線供用
49年	国道4号　あさか野バイパス	13年	郡山国道事務所に名称変更
	国道49号　西会津バイパス・塔寺バイパス事業着手	14年	国道49号　坂本バイパス全線供用
53年	国道49号　若松拡幅事業着手	21年	国道4号　あさか野バイパス全線４車線供用
54年	国道49号　西会津バイパス供用	24年	国道121号　湯野上バイパス事業着手
55年	国道49号　塔寺バイパス供用	26年	国道49号　会津防災事業着手
58年	新庁舎にて業務開始	27年	国道4号　白河拡幅全線供用
	国道49号　熱海バイパス事業着手		国道121号　会津縦貫北道路全線供用
63年	国道49号　猪苗代拡幅事業着手	令和　4年	国道4号　鏡石拡幅供用
平成　元年	国道49号　坂本バイパス事業着手	7年	郡山国道事務所開設７０周年
7年	国道4号　あさか野バイパス・須賀川拡幅全線供用		

国道121 湯野上（ゆのかみ）バイパス　会津若松市と南会津地域間の連携強化を目指します。

今年度の取組み　橋梁上部工工事、改良工事、トンネル工事を推進します。

国道121号湯野上バイパスは、地域の連携強化、広域観光を支援する高規格道路「会津縦貫南道路」の一部として位置づけられ、本県の縦横6本の連携軸の一つである会津軸を形成する自動車専用道路です。平成24年度より国直轄権限代行事業として着手し、整備の推進を図っています。令和8年度は、橋梁上部工工事、改良工事、トンネル工事を推進します。



事業経緯

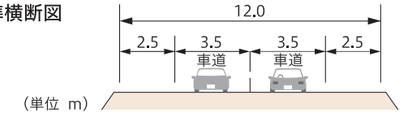
平成19年度／事業着手（福島県）
平成24年度／国直轄事業として新規事業化
平成26年度／用地着手
平成28年度／工事着手

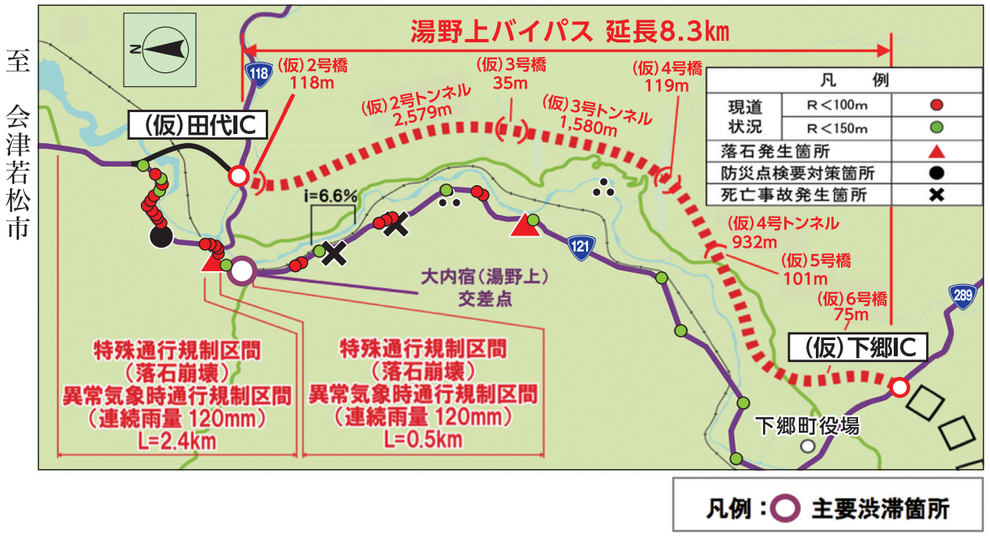
道路規格

構 造 規 格／第1種第3級
設 計 速 度／80km/h
車　線　数／2車線

起点／南会津郡下郷町大字高陦 終点／南会津郡下郷町大字塩生 延長／8.3km

■ 標準横断図





期待される整備効果

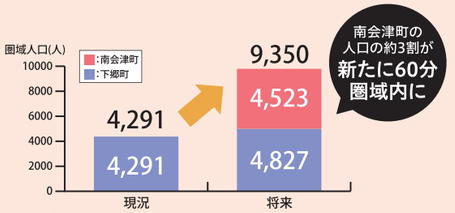
■ 災害に強くなります。



○劣悪な隘路区間を回避できるようになります。
○防災上、対策が必要な箇所を4ヶ所回避できるようになります。
○大雨や災害による通行規制区間の内3区間（7.2km）を回避できるようになります。

■ 救急医療を支援します。

○第三次救急医療施設まで60分以内で搬送できる地域が拡大し、救命率の向上につながります。



▲会津中央病院60分圏域人工の変化　※R2国勢調査

■ 広域連携が強化されます。

○観光地へのアクセス時間が短縮されます。
○日光や米沢を含めた広域的な周遊観光エリアが拡大されます。

国道4号 矢吹鏡石道路（矢吹町・鏡石町）「交通混雑の解消」を目指します。

今年度の取組み　用地調査を推進します。



事業経緯

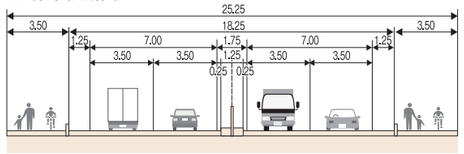
令和3年度／事業着手

道路規格

構造規格 ／第３種第１級
設計速度 ／80km/h
車線数 ／4車線

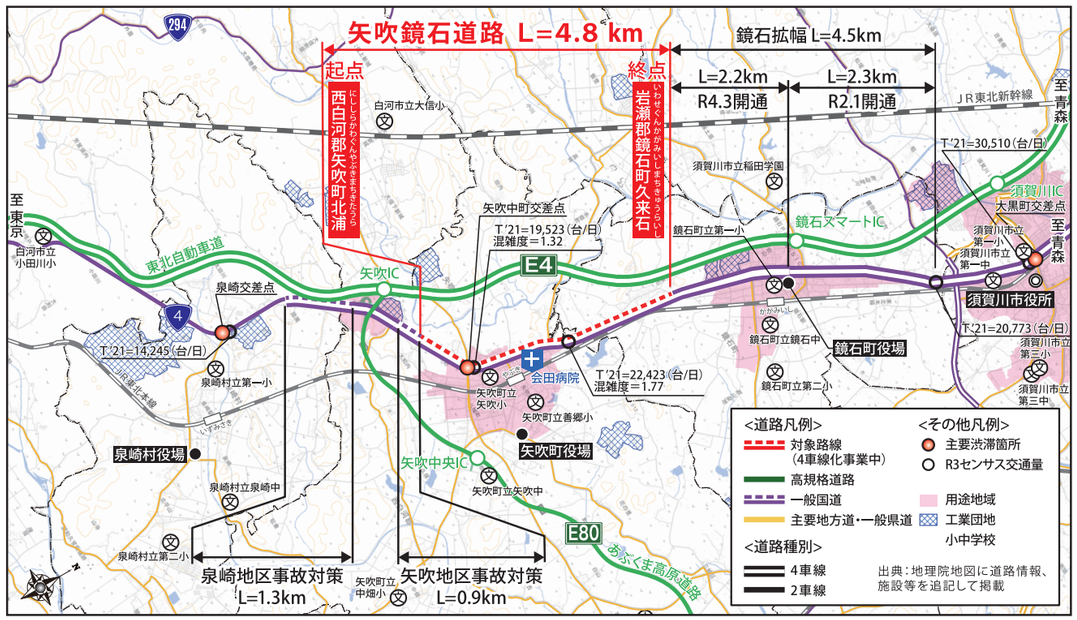
起点／西白河郡矢吹町北浦
終点／岩瀬郡鏡石町久来石
延長／ 4.8km

■ 標準横断図



（単位 m）

矢吹鏡石道路は、国道４号矢吹町及び鏡石町の交通混雑の解消や、安全な交通と良好な環境の確保を目的としています。矢吹町北浦から鏡石町久来石までの延長4.8km区間の４車線拡幅事業です。令和8年度は、用地調査を推進します。



期待される整備効果

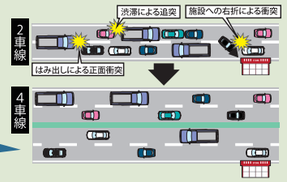
■ 交通の円滑化

渋滞の緩和を図り、スムーズな交通を実現します。

矢吹鏡石道路	現況（2車線）	整備後（4車線）
交通量	224（百台/日）	291（百台/日）
混雑度	1.77	約6割減少 → 0.77
旅行速度	22km/h	約2倍に向上 → 42km/h

■ 交通安全の確保

交通事故を減少させ、安全性を確保します。



4車線化により交通の流れがスムーズに！
→追突の恐れが減少
中央分離帯の設置
→正面衝突・右折の事故が大きく減少

■ 物流ネットワークの強化

物流の効率化を図り、
地域産業活性化を支援します。

4車線化することで定時性確保に期待



▲降雪による高速道通行止時の代替路

■ 安定した救急搬送環境の実現

混雑区間を解消し迅速且つ安定的な救急環境を実現します。

混雑により減速・加速の回数が増え、患者の負担増
→ 4車線化により加速減の回数が減り安定した搬送が可能



▲矢吹鏡石道路を走行する救急車

国道49号 会津防災（柳津町・西会津町）冬期の交通障害の改善を目指します。

今年度の取組み　橋梁上部工工事を推進します。

国道49号はいわき市～新潟市を結ぶ南東北の大動脈であり、並行する磐越自動車道の代替路としての重要な役割も担っています。しかし会津地区では、落石等の危険による事前通行規制区間が指定されているほか、冬期通行障害（大型車のスタック等）による全面通行止めや、線形不良区間における冬期の走行速度の低下などが課題となっています。
会津防災事業では、落石危険箇所や急カーブを回避してバイパス化し、全面通行止めや走行速度の低下を回避、冬期交通の信頼性を高めて安全で円滑な交通を確保します。令和8年度は橋梁上部工工事を推進します。



▲豪雪により身動きが取れなくなった車列（H22. 12. 26）

事業経緯

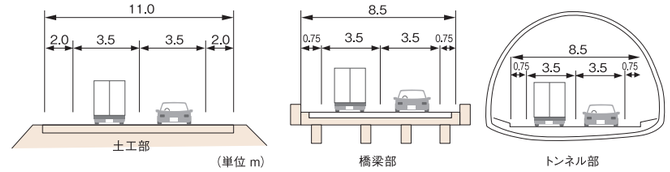
平成26年度／事業着手
平成28年度／用地着手
平成31年度／工事着手

道路規格

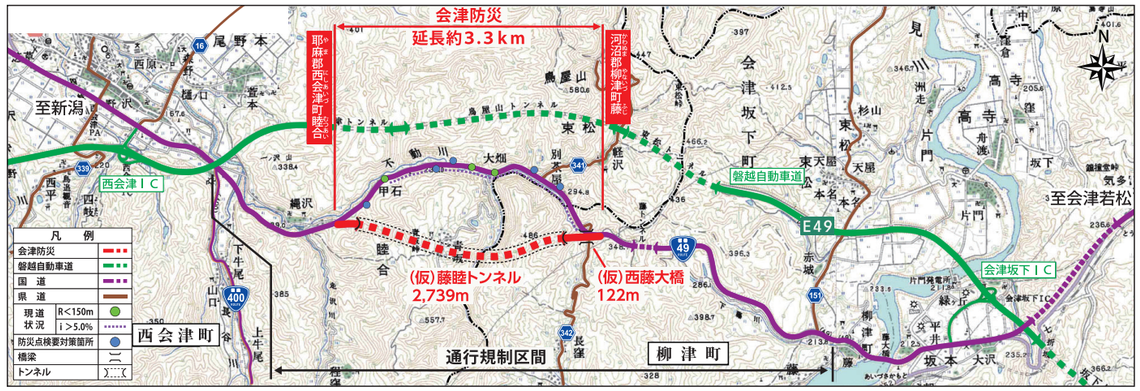
構造規格 ／第3種第2級
設計速度 ／60km/h
車線数 ／2車線

起点／河沼郡柳津町大字藤
終点／耶麻郡西会津町大字睦合
延長／ 3.3km

■ 標準横断図



（単位 m）



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平27情複、703号）」

期待される整備効果

■ 冬期の安全・安心の確保

トンネルにより風雪の影響を受けなくなります。

■ 災害に強く

トンネルにより土砂災害等の影響を受けなくなります。

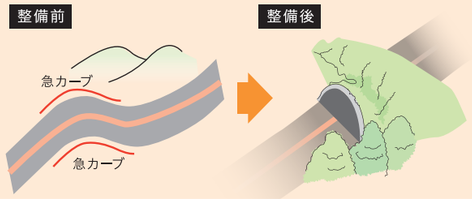


■ 走行性の向上

急カーブの解消により走りやすくなります。

▶走行性、見通しの悪い現道
（不動川と交差（唐目貫橋）付近）



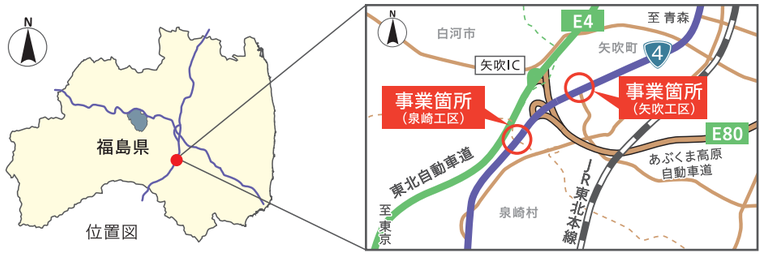


国道4号

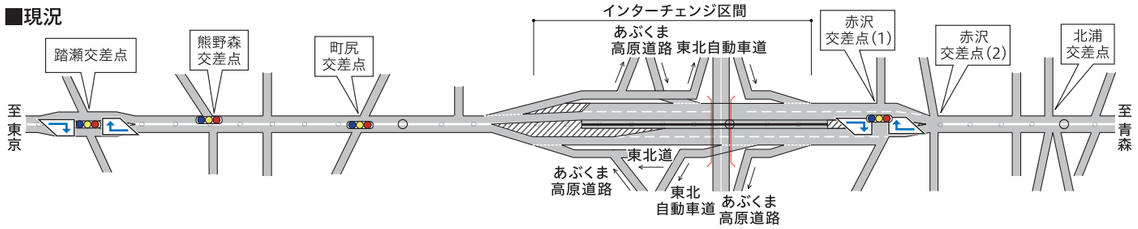
泉崎地区・矢吹地区事故対策（泉崎村・矢吹町） 交通事故の削減を図ります。

今年度の取組み　用地補償、工事を推進します。

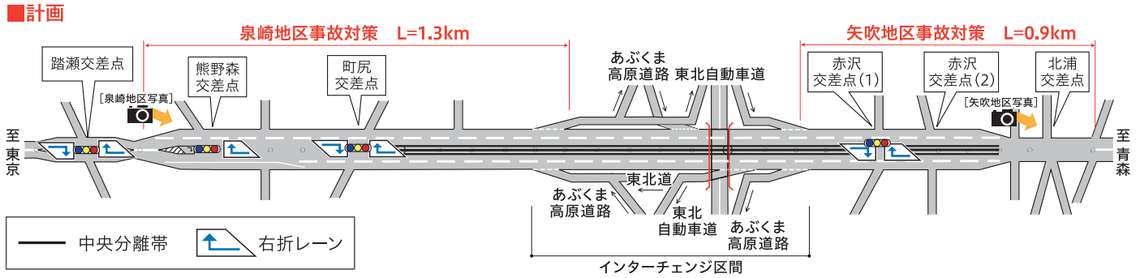
国道4号の東北自動車道矢吹IC出入口付近は、あぶくま高原自動車道の出入口もあり、錯綜する車や、無理な追い越しをする車があり、事故の原因となっています。また、その前後は対面2車線区間であり、信号交差点には右折レーンが無く、追突事故の原因にもなっています。そのため右折レーン新設等により、交通事故の削減を図ります。令和8年度は、用地補償、工事を推進します。



■現況



■計画



［泉崎地区］



右折レーン未整備箇所（熊野森交差点）

［矢吹地区］



右折レーン未整備箇所（北浦交差点）

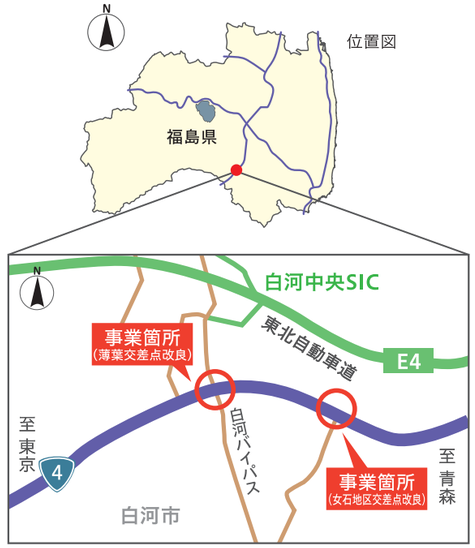
国道4号

薄葉・女石地区交差点改良（白河市） 交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。

今年度の取組み　調査設計、用地補償を推進します。

交差点改良により、交通事故の削減を図ります。

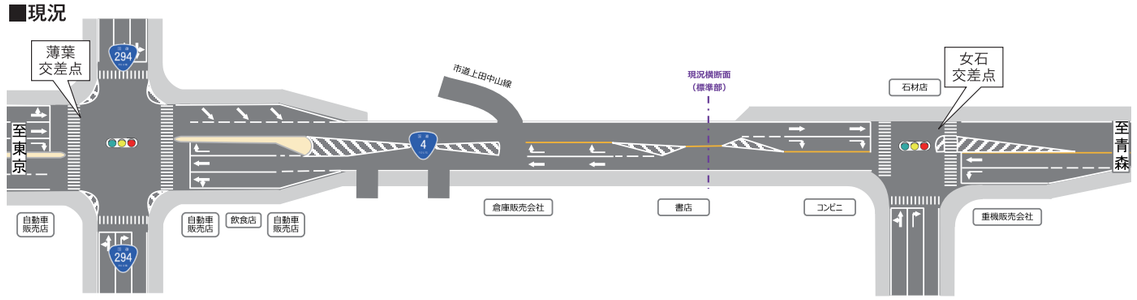
国道4号の薄葉交差点・女石交差点は右折車両が後続車両を阻害し、追突事故等が発生しています。そのため、交差点の改良を行い、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。令和8年度は調査設計、用地補償を推進します。



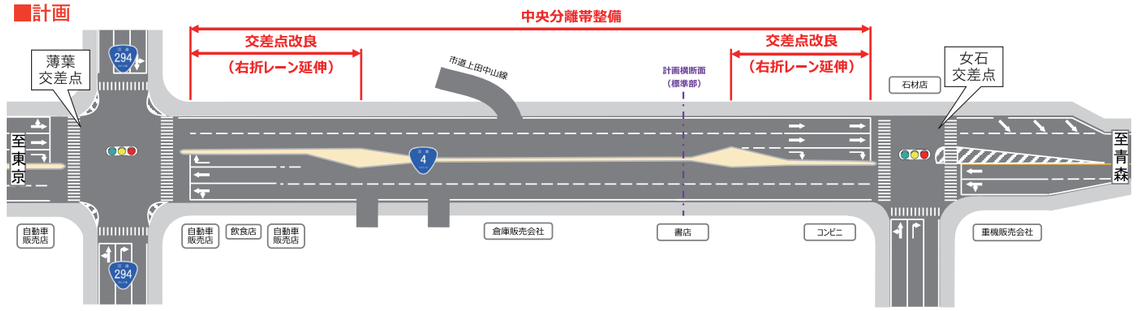
【薄葉交差点】



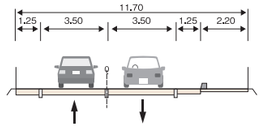
■現況



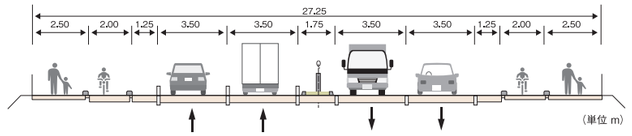
■計画



■ 現況横断図



■ 標準横断図



富田地区車両停車帯設置事業（郡山市）

交通事故の削減および交通の円滑化を図ります。

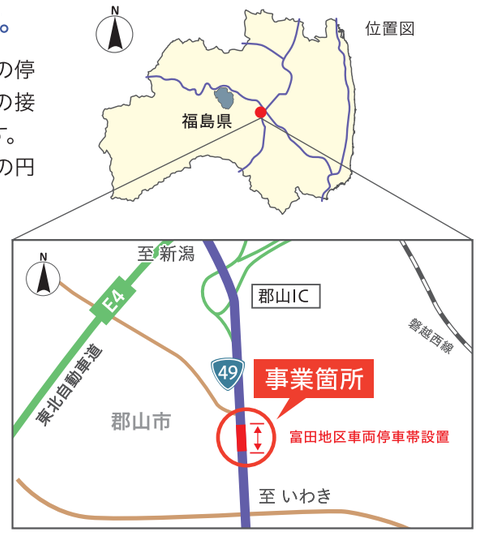
今年度の取組み　工事を推進します。

車両停車帯設置により、交通事故の削減を図ります。

主要渋滞区間内に位置する停車帯のないバス停であり、乗降中の停車を起因とした混雑の発生、後続車の追突事故や車線変更時の接触事故が発生していることから事故危険区間に指定されています。

そのため、車両停車帯設置により、交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。令和8年度は工事を推進します。





山潟（やまがた）地区線形改良（猪苗代町）

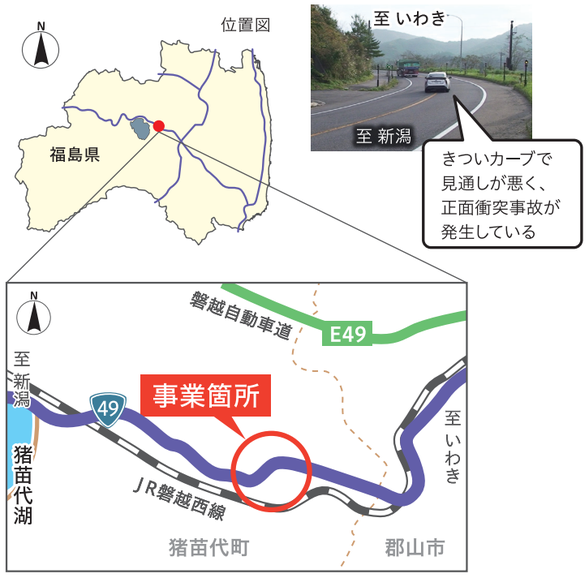
交通事故の削減及び交通の円滑化を図ります。

今年度の取組み　調査設計、用地補償、工事を推進します。

線形改良により交通事故の削減を図ります。

国道49号の山潟地区は、きついカーブの連続で、見通しが悪く、正面衝突事故及び追突事故が多発しています。そのため線形改良を行って対向車線の見通しを改善し、交通事故の削減及び交通円滑化を図ります。令和8年度は調査設計、用地補償、工事を推進します。





付加車線整備事業（柳津町）

付加車線整備による交通の円滑化を図ります。

今年度の取組み　調査設計、工事を推進します。

現況と問題点

1. スタック※車両が発生し、過去に通行止めが発生
   ※スタック：雪道で車が動かなくなる状況
   （スタック発生車両数 H22年度～R6年度 13件）
2. 急勾配区間が連続するため、低速走行する大型車両等により混雑が発生
3. 追い越しによる正面衝突事故も発生

付加車線事業の目的

- 目的 1 冬期におけるスタック発生車両の回避や除雪車のスムーズな通行を確保
- 目的 2 登板部における低速車両と一般車両を分離し、円滑な走行を確保
- 目的 3 無理な追い越しなどを抑制

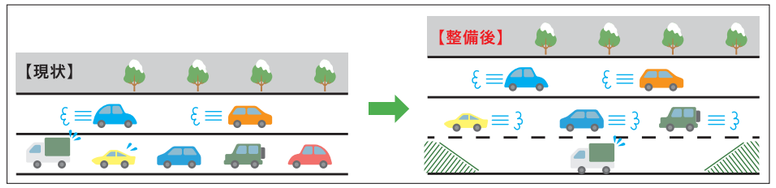


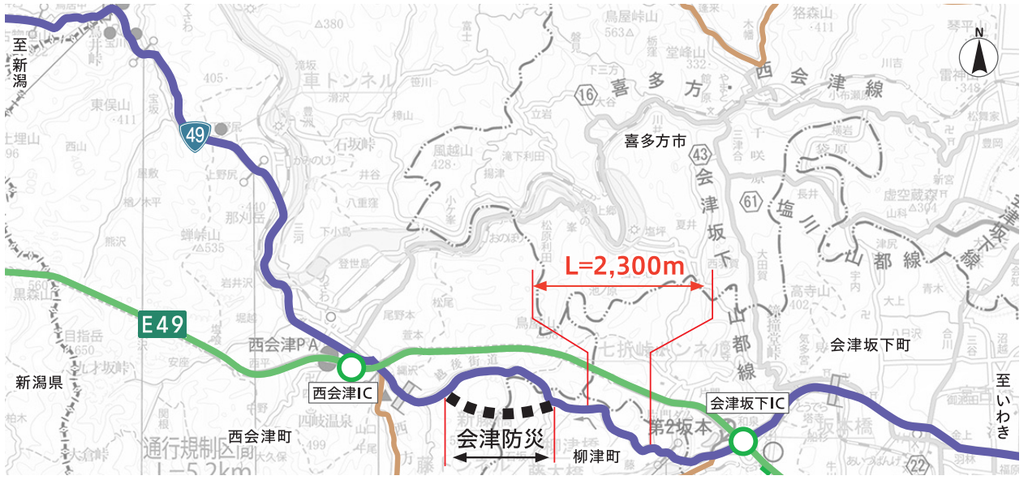
△冬期には関東方面からの大型車が坂を上りきれず、スタック車両が発生



△低速走行の大型車両による渋滞状況







付加車線整備事業

【福島県河沼郡柳津町大字藤大田地内～菅沢地内】

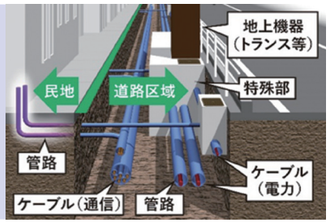
事業延長：L=2,300m　令和８年度は調査設計、工事を推進します。

電線共同溝事業

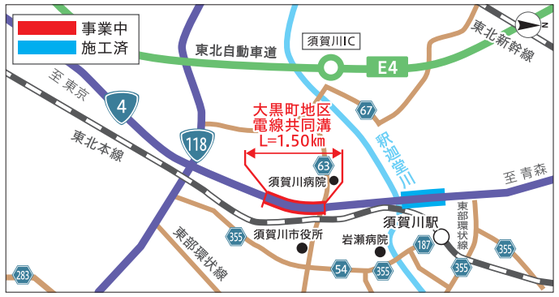
電線共同溝整備による電線類の地中化を行います。

電線共同溝方式（イメージ）

電線共同溝方式は、道路の地下空間を活用して電力線、通信線等をまとめて収納する無電柱化の手法です。沿道の各戸へは地下から電力線や通信線等を引き込む仕組みになっています。

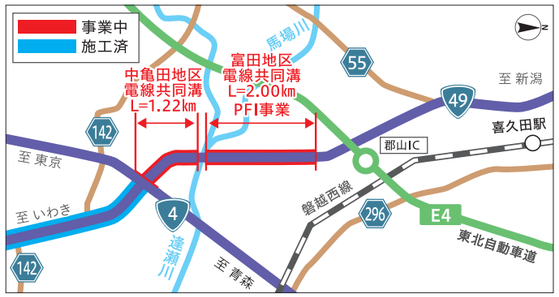


【大黒町地区】 須賀川市大黒町地内にて本体工事を推進します。





【富田地区】 郡山市富田町地内にて調査設計を推進します。



※PFI（Private Finance Initiative）事業
公共施設等の建設、維持管理、運営等に民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して事業の推進を図るものです。
事業は、「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」（PFI法）に基づき実施します。
なお、電線共同溝事業におけるPFI事業の活用は、「整備コストの削減」「事業期間の短縮」「サービス水準の向上」等の効果が期待されます。

無電柱化の推進

都市災害の防止、情報ネットワークの信頼性の向上、都市景観改善等の観点から電線類の地中化の整備を進めます。

無電柱化のメリット

❶道路の防災機能の向上
災害時に倒壊した電柱や電線が道路を塞ぐことがなくなり、速やかな救命救急・復旧活動を支援します。

❷歩行空間の安全性、快適性の確保
電柱がなくなることで歩行空間が広く確保され、全ての歩道利用者が安心して歩道を通れるようになります。

❸良好な景観形成、観光振興
電柱や張り巡らされた電線がなくなることで、すっきりとした美しい街並みが形成されます。

●自然災害による電柱の倒壊



国道7号（秋田県秋田市）



国道45号（宮城県南三陸町）

●管内の整備状況





国道49号　亀田地区電線共同溝（福島県郡山市）

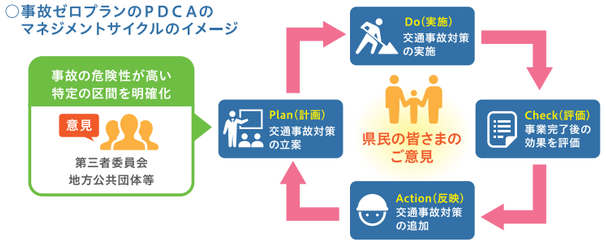
事故ゼロプランと整備効果

危険挙動や事故リスクが低減しました。

■事故ゼロプランとは…

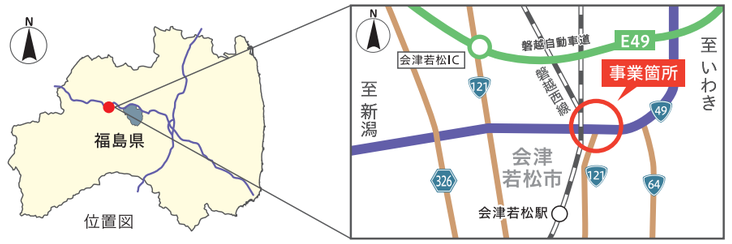
事故の危険性が高い区間などを「事故危険区間」として選定し、県民の皆様に交通事故が起こりやすい区間であるとの認識を持っていただきながら、急ぐべきところから重点的に、事故原因に即した効果の高い対策を実施していくものであります。

○事故ゼロプランのＰＤＣＡのマネジメントサイクルのイメージ



■一般国道４９号　北柳原（きたやなぎはら）交差点の整備効果

当該箇所は、国道４９号と国道１１８号が交わる交差点であり、交差点に進入する車両の速度が高く、対向車の速度読み違いによる右折時事故が多発していた。本事業は、右折レーンシフト化等の交差点改良を行い、交通事故の削減及び交通の円滑化を図るものである。

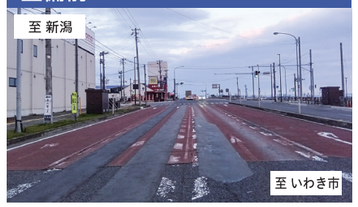


対策後は、右直事故・追突事故の要因となっていた危険挙動や事故リスクが低減、道路利用者が安全性向上を実感

対策内容

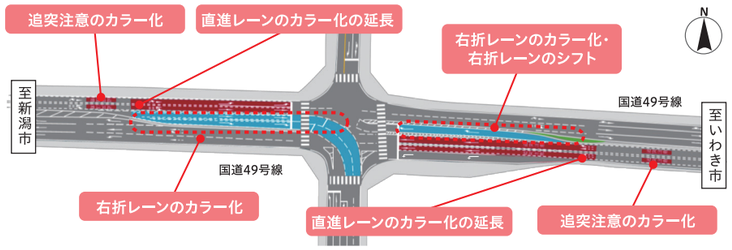


整備前



直進、右折車線のカラー区分無
直進レーンのズレ

対策内容

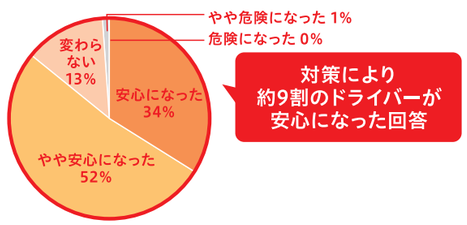


整備後



・直進、右折車線の明確化
・直進車線ズレ解消のため右折レーンシフト化

道路利用者が、対策による安全性の向上と高い満足度を実感



▲対策による安心感の変化



▲対策に対する満足評価

対象者：福島県内在住の交差点 利用者
サンプル数：472票
調査方法：Webアンケート調査
調査期間：令和7年11月28日（金）～令和7年12月10日（水）

道の駅

道の駅を中心とした地域の活性化に取り組みます。

「道の駅」は、平成５年に制度を創設して以来、全国各地に広がり、令和7年1月現在1,230の施設が登録されています。近年は、農業・観光・福祉・防災・文化など、地域の個性、魅力を活かした様々な取り組みが進められ「地域の課題を解決する場」に成長してきました。これからも「地域の拠点機能の強化」と「ネットワーク化」を重視し、各省庁とも連携して、様々な施策を展開していきます。

■ 道の駅の機能

- 休　憩　機　能 ▶ 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能 ▶ 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能 ▶ 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

▶「道の駅」第３ステージへ

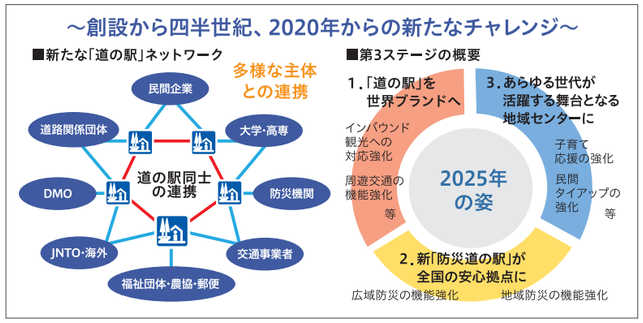
第3ステージ(2020~2025年)

『地方創生・観光を加速する拠点』へ

＋

ネットワーク化で活力ある地域デザインにも貢献

各「道の駅」における自由な発想と地元の熱意の下で、観光や防災など更なる地方創生に向けた取り組みを、官民の力を合わせて加速します。更に、「道の駅」同士や民間企業、道路関係団体等との繋がりを面的に広げることによって、元気に稼ぐ地域経営の拠点として力を高めるとともに、新たな魅力を持つ地域づくりに貢献します。



▶福島県内の道の駅一覧

	駅名	設置者	路線名	EV充電器	無料公衆無線LAN
1	つちゆ	福島市	国道115号	○	○
2	川俣	川俣町	国道114号	○	○
3	たじま	南会津町	国道121号	○	○
4	安達	二本松市	国道4号	○	○
5	喜多の郷	喜多方市	国道121号	○	○
6	裏磐梯	北塩原村	国道459号	○	○
7	ならは	楢葉町	国道6号	○	○
8	そうま	相馬市	国道6号		○
9	はなわ	塙町	国道118号		○
10	会津柳津	柳津町	国道252号	○	○
11	ふくしま東和	二本松市	国道349号		○
12	にしあいづ	西会津町	国道49号	○	○
13	尾瀬街道みしま宿	三島町	国道252号	○	○
14	たまかわ	玉川村	県)福島空港西線	○	○
15	羽鳥湖高原	天栄村	主)白河羽鳥線		○
16	南相馬	南相馬市	国道6号	○	○
17	しもごう	下郷町	国道289号	○	○
18	ひらた	平田村	国道49号	○	○
19	よつくら港	いわき市	国道6号	○	○

		設置者	路線名	EV充電器	無料公衆無線LAN
20	ばんだい	磐梯町	主)猪苗代塩川線	○	○
21	ふるどの	古殿町	国道349号	○	○
22	番屋	南会津町	国道352号	○	○
23	季の里天栄	天栄村	国道294号	○	○
24	きらら289	南会津町	国道289号	○	○
25	奥会津かねやま	金山町	国道252号	○	○
26	さくらの郷	二本松市	国道349号		○
27	あいづ 湯川・会津坂下	湯川村・会津坂下町	国道49号	○	○
28	からむし織の里しょうわ	昭和村	国道400号	○	○
29	猪苗代	猪苗代町	国道115号	○	○
30	国見 あつかしの郷	国見町	国道4号	○	○
31	いいたて村の道の駅までい館	飯館村	主)原町川俣線	○	○
32	尾瀬檜枝岐	檜枝岐村	国道352号	○	○
33	伊達の郷りょうぜん	伊達市	国道115号	○	○
34	なみえ	浪江町	国道114号	○	○
35	ふくしま	福島市	主)上名倉飯坂線	○	○
36	いわき・ら・ら・ミュウ	いわき市	臨港道路1号ふ頭内線	○	○
37	石川(R8年9月開業予定)	石川町	国道118号		

▶高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の実施

■道の駅 猪苗代

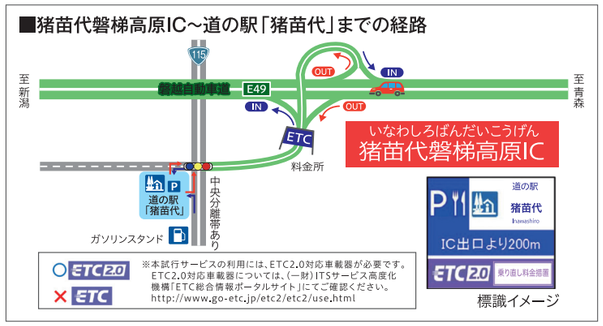
良好な運転環境を実現するため、高速道路からの一時退出を可能とする「賢い料金」の試行を道の駅「猪苗代」で行っています。

■利用条件

①ETC2.0※搭載車が対象です。
（全行程で同一のETCカードをご利用ください。）
②猪苗代磐梯高原ICでの乗り直しかつ
順方向の利用のみ料金措置となります。
③道の駅「猪苗代」に必ず立ち寄る必要があります。
④猪苗代磐梯高原IC退出後、2時間以内に
猪苗代磐梯高原ICから再流入してください。

▼

一時退出した場合でも、目的地まで高速道路を降りずに利用した場合と、同じ料金に調整します。



標識イメージ

道路管理

人や道路にとって快適・安全な道路交通を実現します。

■ 道路巡回

道路を常に良好な状態を保つため、道路パトロールや徒歩による巡回を行っています。道路パトロールは、道路の異状や損傷の把握、路上障害物の発見、排除を行うもので、原則２日に1回実施しています。


路上障害物の排除


穴ぼこの簡易的な補修

■ 維持修繕 ～いつもの道をいつものように～

交通に支障を及ぼさないように除草、植栽の剪定、橋梁やトンネル、機械電気設備などの点検等を行っています。実施場所や施工時期について沿線市町村や地域住民の方々と調整を図りながら実施します。

［実施項目］



道路清掃


点検



標識設置


除草


剪定

■ 除雪（冬みちの安全確保）～24時間出動できる体制～

冬期の安全で円滑な道路交通確保のため、除雪と融雪対策を実施します。郡山維持出張所、会津若松出張所が、国道4号の須賀川、国道49号の猪苗代、会津若松、西会津の除雪ステーションで24時間出動できる体制を整えています。

○除雪：原則5～10cm程度の積雪に達し、さらに続くことが予想され交通の支障となる積雪が見込まれる場合に実施
○凍結抑制剤散布：路面凍結が予想される場合に実施

短時間の大雪時には集中除雪のため、予防的通行止めを実施します。


車道除雪の状況


歩道除雪の状況


拡幅除雪の状況

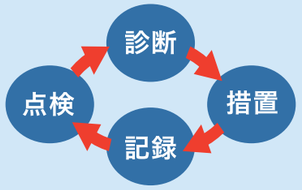
老朽化対策

道路構造物の老朽化対策を行います。

■ 近接目視による点検

道路構造物の老朽化対策は緊急的・社会的な課題であることから平成26年度からすべての構造物について点検が進められています。令和5年度までの5年間で2巡目の点検が完了し、引き続き3巡目点検を計画的に進めています。

メンテナンスサイクル



・補修
・経過観察
・通行規制など

「点検→診断→措置→記録」の業務サイクルを通じて、予防的な保全を進めるメンテナンスサイクルを構築


道路付属物（横断歩道橋）近接目視


道路付属物（道路情報板）近接目視

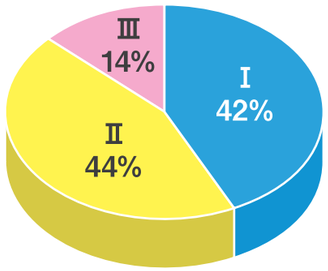

トンネルの近接目視


橋梁点検車による点検

■ 道路施設の修繕

令和元年度から令和5年度までの2巡目点検において、健全度Ⅳ（緊急措置段階）の橋梁はありませんでしたが、健全度Ⅲ（早期措置段階）の橋梁が26橋確認されています。これらの橋梁を中心に橋梁点検により把握した劣化や損傷状況に対して、計画的に修繕を実施していきます。

■管内橋梁の点検結果
（R元～R5）



区　分		状　態
Ⅰ	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
Ⅱ	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
Ⅲ	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
Ⅳ	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

【国道49号五百淵公園歩道橋】


【施工前】


【施工後】

■ 直轄診断及び修繕代行の事例



三島大橋

所 在 地：福島県三島町　　橋　　長：131m
路　　線：町道 宮下・名入線　　直轄診断：平成26年
建 設 年：昭和50年　　事業完了：平成28年度



沼尾シェッド

所 在 地：福島県下郷町　　橋　　長：189m
路　　線：町道 沼尾線　　直轄診断：平成27年
建 設 年：昭和33年　　事業完了：平成29年度

防災・減災への取組み

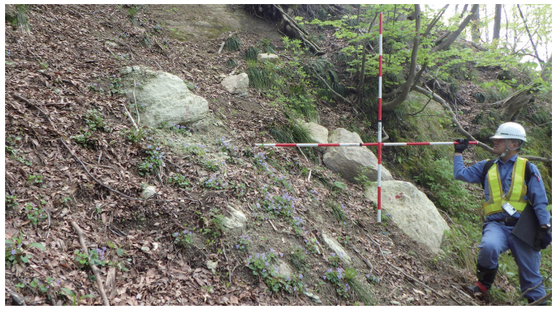
災害リスクに対する防災、減災対策を行います。

■ 防災・減災

強靭な道路ネットワークの構築に向けて、近年の激甚化した災害や点検手法の高度化等により新たに把握した災害リスクに対する防災・減災対策を推進します。

道路の法面・盛土の土砂災害防止対策

地震や豪雨時に落石・崩壊の恐れのある法面に対し、土砂災害防止対策を実施し、災害発生を未然に防ぐことで、円滑かつ迅速な応急活動を支える緊急輸送ネットワークの確保を図ります。


法面（転石・浮き石）の点検


対策（ロープ掛け）後の点検

河川に隣接する道路構造物の流出防止対策

被災により通行止めが長期化する橋梁や道路流出等の災害リスクに対し、洗掘・流失防止対策等の対策工を検討、実施することで、交通障害に対するリスクの低減を図ります。


擁壁（護岸）の点検


橋脚基礎洗掘の点検

■ 防雪

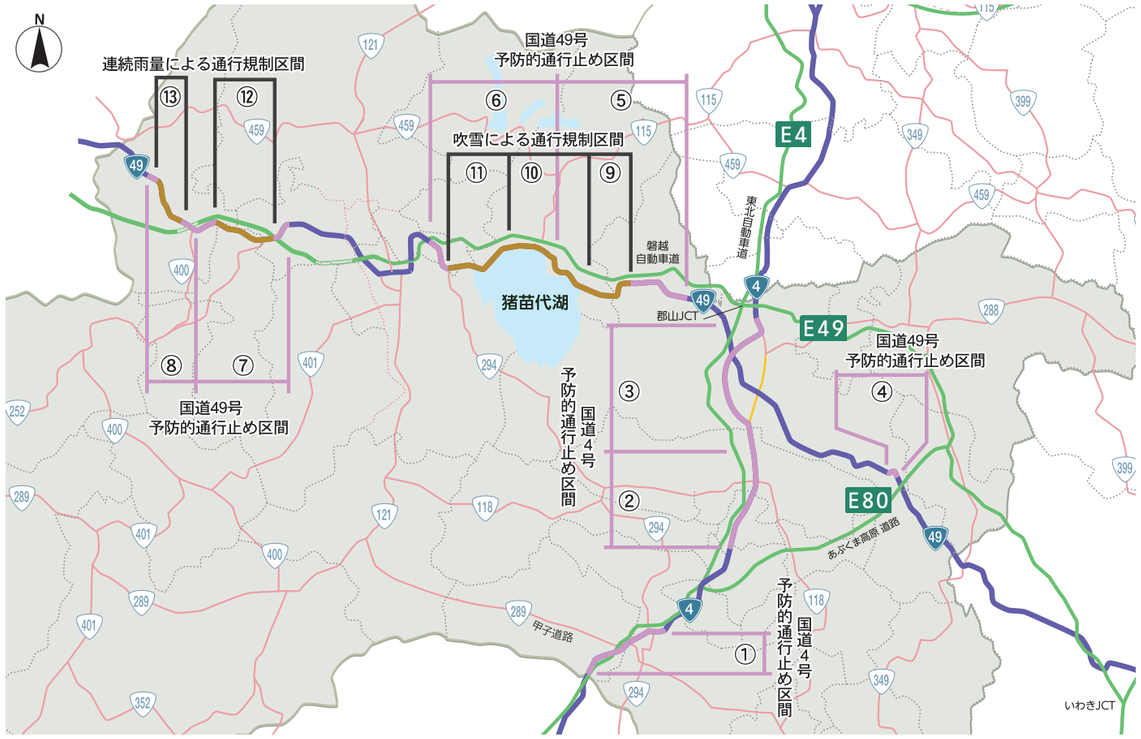
法面に着雪した雪や降雪により大きくせり出した雪庇が車道へ崩落する恐れのある法面や地吹雪による視程障害が発生する可能性のある区間に対し、対策を検討、実施することで、雪災害による交通障害のリスク低減を図ります。


雪庇発生状況の点検

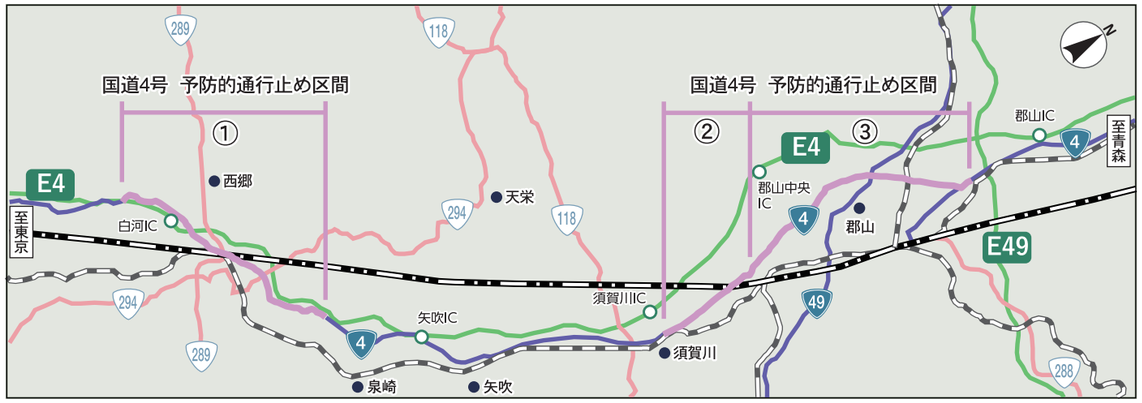

対策（防雪柵設置）後の点検

通行規制区間

事前通行規制区間：通行規制基準に達した場合に通行規制を実施
予防的通行止め：短時間での大雪が予想される場合に集中的な除雪を行うため、予防的通行止めを実施



■4号の予防的通行止め区間



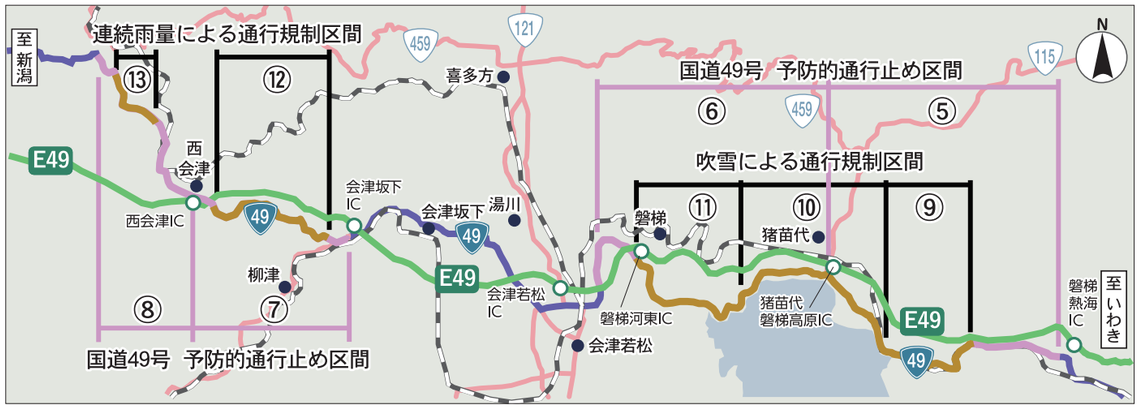
番号	路線名	区間	kp	延長(km)
①	国道4号	西郷村小田倉～白河市小田川	182.2～195.1	12.9
②	国道4号	須賀川市大黒町～須賀川市滑川	213.9～219.7	5.8
③	国道4号	須賀川市滑川～郡山市日和田町	219.7～232.4	12.7

■49号（平田）の予防的通行止め・通行規制区間



番号	路線名	区間	kp	延長(km)
④	国道49号	平田村蓮田新田～郡山市田村町	44.6～46.1	1.5

■49号（会津）の予防的通行止め・通行規制区間



番号	路線名	区間	kp	延長(km)
⑤	国道49号	郡山市熱海町～猪苗代町堅田	85.0～104.6	19.6
⑥	国道49号	猪苗代町堅田～会津若松市一箕町	104.6～126.6	22.0
⑦	国道49号	会津坂下町坂本～西会津町野沢	150.5～162.3	11.8
⑧	国道49号	西会津町野沢～新潟・福島県境	162.3～174.8	12.5

番号	路線名	区間	気象等基準値	kp	延長(km)
⑨	国道49号	郡山市熱海町大字中山字西樋ノ下～耶麻郡猪苗代町大字山潟字上戸前	降雪時に概ね風速12m/secで吹雪により視界が阻害され道路交通が不能になる事態が予想される場合	90.6～97.6	7.0
⑩	国道49号	耶麻郡猪苗代町大字山潟字上戸前～耶麻郡猪苗代町大字翁沢字長浜		97.6～111.0	13.4
⑪	国道49号	耶麻郡猪苗代町大字翁沢字長浜～河沼郡河東町大字八田字村西甲		111.0～120.9	9.9
⑫	国道49号	河沼郡柳津町大字藤字古市～耶麻郡西会津町野沢字田中甲	連続雨量150mm	151.6～161.1	9.5
⑬	国道49号	耶麻郡西会津町大字上野尻字寺林～耶麻郡西会津町大字宝坂字坊ノ前		167.8～173.0	5.2

災害に備える

災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。

■ 危機管理訓練

風水害、地震、雪害などの災害発生時に備え、災害対応の機能強化と関係機関との連携に努めています。また、震災発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの初動対応訓練を実施し、職員の防災能力の向上を図っています。



総合防災訓練における災害対策支部
（事務所災害対策室）



国道４９号事前通行規制区間における遮断機訓練
（西会津遮断機）



災害対策基本法に基づいた車両移動を伴う
現地対応訓練

■ 道路監視カメラによる状況確認

道路監視カメラを用いて、路面状況や工事規制時の安全確認、事故や災害が発生した時にすばやい対応ができるよう、監視しています。



トンネル火災の発見
（国道49号熱海トンネル）



交通状況を確認し、集中除雪を実施
（国道４９号会津若松市河東町八田）

■ 各機関との連携

郡山国道事務所では、過去に異常降雪により国道49号で通行障害が発生したことから、関係機関との情報の共有化、情報提供等についての打合せを毎年行っています。



新潟・福島県境道路情報連絡会議



冬用タイヤの早期装着状況を調査して
公表しています。

建設機械

除雪車など58台を配備し、道路のメンテナンスや災害時の対応を行っています。

■ 建設機械の配備台数（令和7年4月1日現在）

路面清掃車

道路上のゴミや土砂を車両中央にあるブラシを回転させて取り除きます。自動車などが走行しやすい様に路面をきれいにします。



除雪トラック



除雪トラックは、プラウ（半円筒板状の装置）を前面に取り付けたトラックで、高速除雪に適しています。この他に、大きな刃で圧雪を削り取る除雪グレーダや、固まった雪を道路脇へ飛ばすロータリ除雪車などの除雪機械があります。

機械名	規　格	郡山維持出張所	会津若松出張所	計
パトロールカー	標識装置付	2	2	4
照明車	2kW×6灯	1		1
側溝清掃車	ロータリブロア式	1		1
散水車	タンク容量4,800L	1		1
路面清掃車	ブラシ式	1		1
除雪トラック	凍結抑制散布装置無		3	3
	凍結抑制散布装置付		3	3
除雪ドーザ	重量13t級		1	1
	重量14t級	1	2	3
除雪グレーダ	ブレード長4.0m級	3	6	9
	ブレード長4.3m級		4	4
ロータリー除雪車	除雪幅2.2m級		3	3
	除雪幅2.6m級		1	1
歩道除雪車	除雪幅1.0m級		3	3
	除雪幅1.3m級		3	3
小形除雪機	除雪幅 0.8m、高出力型		3	3
	除雪幅0.5m		4	4
凍結抑制剤散布車	散布容量2.5㎥級	6	3	9
雪庇処理車	バケット式		1	1
計		16	42	58

災害対策支援

災害発生時に被災地方自治体へ職員を派遣し支援を行います。

災害発生時、被災した全国の地方公共団体等へ国土交通省職員を派遣し、被災地状況調査、被災状況の情報伝達や技術的応急対策支援等により自治体への支援を行います。

国土交通省
TEC-FORCE
Technical Emergency Control FORCE

■ 緊急災害対策派遣隊（TEC-FORCE）

郡山国道事務所管内の災害対応のほか、大規模自然災害に際し、被災地方公共団体等への被災状況の迅速な把握や早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援災害対策用機械による応急復旧支援等を目的とし、TEC-FORCE隊員を現地に派遣します。

※テックフォース：Technical Emergency Contorol FORCE

■ 令和６年７月の大雨による派遣

令和６年７月２４日からの大雨により、甚大な被害を受けた山形県戸沢村へ職員を派遣し町内の県道や町道などの被災状況調査等による技術的な応急対策支援を実施しました。



県道の被災状況調査



戸沢村職員との打ち合わせ



道路をふさぐ倒木の調査

■ 緊急災害対策現地情報連絡員（リエゾン）

大規模災害が発生又は発生の恐れがある場合に自治体の災害対策本部に職員を派遣し、被災状況の情報収集及び当該地方整備局等の災害対策本部に伝達するほか、地方整備局からの情報やTEC-FORCE等の支援メニューの提供など、災害支援活動の連絡調整等自治体との太いパイプ役となり活動します。

※リエゾン：災害対策現地情報連絡員Liaison,
「仲介、橋渡し等」という意味のフランス語



災害対策本部（白河市）

■ ホットライン

郡山国道事務所管内で災害が発生するおそれのある場合は、被災自治体とのホットラインを構築し、被災自治体の支援ニーズを把握したうえで効果的な対策の早期実現に向けて支援します。

■ TEC-FORCE予備隊員

「TEC-FORCE予備隊員」とは、災害対応に係る専門的な知識・経験を有し、非常勤職員の国家公務員として災害時にTEC-FORCEの一員となり被災地等で活動する候補者の方々です。

【活動内容】
・リエゾンとしての活動
・公共土木施設の被害状況の調査
・災害応急対策に必要となる技術的助言

TEC-FORCE
予備隊員についての
詳細はこちら

道路情報の発信

道路を利用する皆様に向けて運転に役立つ情報や道路に関する様々な取り組みを発信しています。

■ 郡山国道事務所ホームページ



出張所通信

郡山国道事務所の各出張所では、工事の進捗状況及び最新の話題などを情報提供しています。ホームページの出張所名をクリックすると閲覧できます。

道路・防災・気象情報

- 道路情報（郡山国道事務所HP）※路面状況情報
- 雨量情報（東北地方整備局HP）
- 規制情報・郡山国道お知らせ情報（郡山国道事務所HP）
- 地震情報（気象庁HP）
- 警報情報（気象庁HP）
- 天気予報（気象庁HP）

例）・道路情報



ホームページトップの道路・防災・気象情報をクリックすると上記各項目ページに移ります。様々な情報を確認できますのでご利用ください。

※11月～3月の期間は雪道気象情報を提供します。

ホームページ・携帯サイトで情報提供しています

https://www.thr.mlit.go.jp/koriyama/

郡山国道 検索

■ 事務所公式SNS（X）

郡山国道事務所ではXによる福島県中通り（中部・南部）及び会津地域の国道４号、４９号に関する防災情報や冬みち情報を発信しています。

・事業情報に関するはアカウントはこちら

アカウントID：@koriyama_mlit

https://X.com/Koriyama_mlit



・道路情報に関するアカウントはこちら

アカウントID：@road_koriyama

https://X.com/road_koriyama



■ 地域とのつながりを大切に

・地域づくり相談室 TEL：024-946-0359

地域との連携・交流を一層深めるため、地域づくり相談室を設置し、地域づくりの活動を積極的に支援していきます。さらに、地域づくりに関する情報提供や講演等を行っています。

・道の相談室 TEL：024-946-1100

「道の相談室」は、道路に関するあらゆる相談・意見・苦情・質問等を受け付ける窓口です。寄せられた意見は各道路管理者が回答をし、速やかに返答する「ワンストップサービス」を行っています。

・2024年問題対応窓口 TEL：024-946-8166
mail：thr-775-workstyle@ki.mlit.go.jp

2024年4月から建設業に時間外労働の上限規制が適用されることを踏まえ、各種相談窓口を設置しました。

・技術開発相談室 TEL：024-946-0333（代）

「技術開発相談室」は、技術情報の収集と活用技術提案の受け入れ、県・市町村に技術を支援するための窓口です。

・道路緊急ダイヤル #9910

道路の穴ぼこ、路肩の崩壊などの道路損傷、落下物や路面の汚れなど道路の異状を24時間受け付けています。通話料は無料です。

郡山国道事務所 管内図